

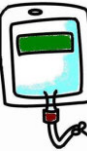



エムプリシティの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。()内は抗がん剤の成分名です。

お薬の名前	1日目	2-14日目	15日目	16~28日目
アレルギー止め	 30分	お休み	 30分	お休み
エムプリシティ (エロツスマブ) mg	 __ 時間	お休み	 __ 時間	お休み

※1コースを28日間として行います。

アレルギー予防としてエムプリシティ投与30分前までに抗アレルギー薬、解熱鎮痛薬を服用します。

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、

治療開始後 7~14 日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。

場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

血小板減少

血小板の数が少なくなることがあります。血小板は出血した時に血を止める働きがあります。

血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

〈ご自身でわかる副作用〉

インフュージョン・リアクション

投与中から投与後、アレルギーに似た症状が出る場合があります。『寒気』『熱っぽい』『発疹が出る』

『息苦しい』『めまい』などの症状がおこった時は、すぐに医療スタッフにお知らせ下さい。

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。症状に合わせて吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

便秘

便が硬くなって排便しづらくなることや、お腹が張ることがあります。

⇒便を軟らかくしたり、腸を動かすような薬を使って排便をうながします。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを使用する場合があります。ただし、発熱・嘔吐などを伴う場合は病院へ連絡して下さい。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

発熱

抗がん剤点滴中～点滴後、一時的に熱が出る場合があります。点滴した日の翌日までに起こることが多いです。

⇒必要に応じて解熱剤を使うことがあります。主治医の指示に従って服用して下さい。

倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

浮腫

顔や手足がむくむことがあります。次第に良くなることもありますが、症状が辛い場合や痛みを伴う場合は、主治医に相談して下さい。

筋けいれん

足や手が痛む、力を入れた時につる、寝ている時に体がつるなどの症状があらわれることがあります。

⇒症状が気になる場合は、主治医にご相談ください。

不眠

寝つきが悪い、眠りが浅くなる場合があります。

⇒症状が気になる場合は、主治医にご相談ください。

高血糖

血糖が高くなる場合があります。そのため、定期的に血液検査を行い、血糖値を確認していきます。

血管外漏出

点滴部周辺に不快感を感じる、赤くなる、痛みがでる、腫れるなどの症状があらわれることがあります。

⇒痛みや異常を感じたら我慢せず、すぐに医師・看護師にお知らせください。症状は数日続くこともありますので、外用薬などが処方された場合は継続して塗るようにして下さい。

白内障

ものがみえにくくなったり、かすんだり、二重に見えたりすることがあります。

★下記の様な副作用症状が発現した場合は病院へ連絡してください。

★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎、心障害）

※これ以外にも、いつもと違う症状を感じたら病院へ連絡してください。

担当薬剤師